



藤本 みのる 通信 Vol 312  
2019年1月29日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠853

電話/FAX 0554-56-7272

学校をより良い教育の場に

「学校がブラック職場になっている」—いま、教職員の長時間労働が社会問題になっています。2017年、ついに政府も「是正」を掲げましたが、その対策は肝心の教員増がないなど、不十分です。それだけに、国民、教職員が力を合わせて、国や自治体に必要な対策をとらせ、学校を安心して働き続けられる場にするのが求められています。

そこで、私は12月市議会で、①大月市内での実態、②今後の勤務時間把握と業務の縮減、③授業数に見合う教員増を国に求めよ、と質問しました。

大月市内の小中学校での長時間勤務の状況は、校長先生への聞き取り調査の結果、「月の残業が80時間を超える者は、小学校では全体の1割弱、中学校では3割弱。文部科学省調査の小学校3割、中学校6割に比べて低い数値となっている」。また、6月から出退勤記録票の記録を始めているということでしたので、業務の縮減と合わせ、大月市での長時間勤務、多忙化の一掃を求めました。

教員が異常な長時間勤務に置かれていけば、教育の専門職に必要な自律性まで奪われてしまいます。そうなれば、子どもの実情や保護者の願いに応じた柔軟で人間味ある教育が難しくなってしまいます。多くの国民、教職員のみなさんと力を合わせ、引き続きがんばっていきます。



『教職員の働き方  
を変えたい』  
日本共産党 2018. 11. 9

日本共産党の提言パンフを市幹部職員、教育委員会関係者、教職員組合に届けました。

12月市議会で、実態認識と長時間労働是正のための質問・提言を行いました。

【藤本みのる活動日誌】

1月25日(金) 天神祭(小篠三社神社)

1月30日(水) 実りの時間(笑いの家とのうえ)、消防団正副部長会議